第47号

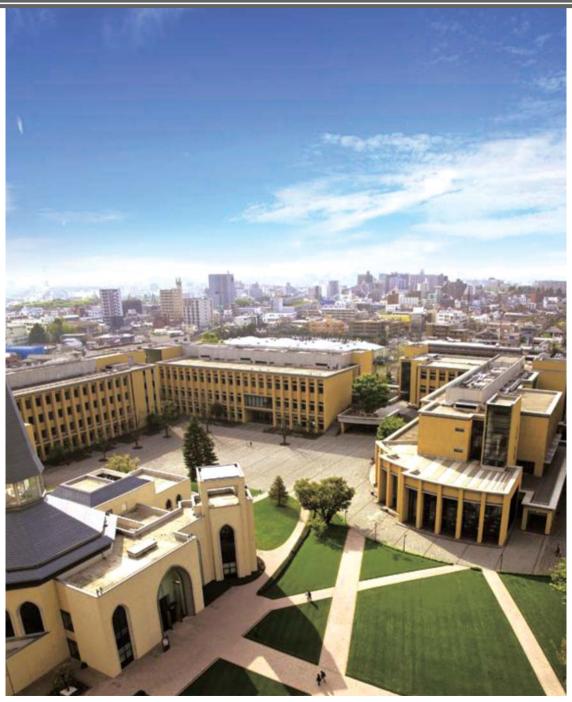
会



青山学院大学 日本文学会

(題字) 湯池 孝先生

2013年3月23日



巻頭随筆

自分の根っこと繋がるのが研

日本文学会会長 大上 正美

そうだと。

ぼくはそのような証

推し量ると大上の解釈の方がよさ くの草稿が残っていて、それ いく、と訂正された。梶井には多 かぶ雲とは関わらず空に消滅



ました。 向けての、 がどのように関わるのかを問わず 文と漢文とは別にいわゆる総合国 には前に進めない、という若い人に 書くことや読むことと 『の中にあったものです。それと |敦の「山月記_ 一ていたもので、二年生の時、 [の教科書で現国の授業を受け もう半世紀も前の高校時代、 以 下は、 我と真っ向から取り組む昂 たしか京都の出版社から 「ぼくの場合はの一言です。 研究の入り口にあって を辞書を引きな 〈研究〉 Ł 古 中

だけ

かも知れません。

すっ

の始め、

ませんね

(笑)。

間粘 というところで、 せられる中間体操を逃れたかった しいことで、 のようなことは日頃のぼくには珍 ばで直に問うてみたのでした。そ あと漠然と思い、 でいた大きな雲に吸収されていく き起こる雲がそれまで空に浮かん 助けにされたのです。山間から湧 を黒板に絵にして生徒の想像力の ですが、鈴田克介先生はその光景 山をながめているだけの描写なの ています。 での印象的な場面も刻みつけられ 事な出会いでした。 でもない) 並んでおかれていた梶井基次郎 蒼穹」は、 っていたのは、 の価値を知った特に大 村はずれの空間で空や 創作 それでいてかなりの 終了後に絵のそ ぼくはそうかな (小説でも物語 休み時間に課 と同時に授業

0 証しを求める姿勢に 興 に驚いたのです。その後に研究に 、味を持ったのも、

から消えていた二、三日後の授業 先生は先日の説明はどう かり頭 ぴったりの衝撃でした。中国文学 0) で肩肘張った文章 でぶつかっていく、 ようと文学の師に向かって直接生ようと文学の師に向かって直接生 代も混迷なのです)を必死に生き 時の混迷の社会 載されていて、 の往復書簡 三年生のものには、 も文学だとするぼくの原点です。 理想郷への誘いの浪漫は、 0) 雑樹無く桃の林がずっと続き、 りがたいことでした。 ていたことも、今から考えるとあ が富岡鉄斎の絵とともに収録され 玉 されていることは確かです。)落英が川面一面に繽紛と舞う、 |語のなかに陶淵明の「桃花源記| また漢文の教科書でなく、 やり方はそれぞれですが) 訳)がそのころの性急な自分と 「両地書」の冒頭が掲 若い女子学生が当 (そしていつの時 (竹内か増田 その勢い込ん 魯迅と許広平 川の両岸に

漢文学

そ

第47号 卷頭随筆 目 次

でして

間違いで、

生成した雲は空に浮

卒業生の近況 研究余滴 日文生随筆 日本文学春季大会

から

二〇一二年度講義題目 招聘講演 日本文学科夏期集中講義

二〇一二年度演習紹

介

先生の読みの

(研究の証し

総合

三二一一 三〇九一六五四三二 四 四

研究室便り

る自分の原点かも知れません を専門とし、 言志の精神にこだ が、 で

それらは書くことや梶井や敦の創 くこと、 まだになかなかそううまくはいき 持って言えればいいのですが、 か るのかも知れません。 存在の根源を作りだそうとしてい つまでもその実態は危ういので、 メージは確かにあるのですが、 います。 つまでも自分の根っこと繋がって 分の方法を問うことですから、い 方法は探れない。 あったし、 作と決して切り離せないもの 実現できないものだと、 自分の根っこと離れては研究 研究することを通してし ただ自分の根っこのイ 今もまたそうです。 研究は絶えず自 それは書 1 の

研究余滴

日本語指示詞の意味論 相手の発話を指示するアの運用とその変化― 語 用論

日本文学科准教授

澤田

淳



うけてその発話を指示する場合、 のが普通である(*は不適格の ソが使用され、アは不適格となる 現代日本語では、相手の発話を

 $\boxed{1}$ A:このままだと新幹線に 乗り遅れちゃうよ。

В と言っても、 でてどうしようもない |そんな/*あんな||こ 道が混ん

ところが、小説などを読んでい

ると、 わすことがある。 にも関わらず、ソではなく、アが われている興味深い用例に出く 相手の発話を指示している

(2)「そういえば、ヤーさん、ちっ どうせ肩すかしをくう組だ と、女中の八重子が言った。 いわね。」 ともあたしたちをくどかな からな。」 「くどいてもはじまらんよ。

とかね子がはやした。 知ってるわ。」 てる。あたし、ちゃあんと (松本清張『点と線』1958年) やあい、あんなことを言っ

3 肩身がせまいわ」 はお客さまを持たないと、 売してるんですもの、 あんなことを。そりゃあ商 「売れっ子だからな」 少し

> (4)「(略) もう、結婚なすって 死なれるほど、女は困るこ 何といっても、 奥さんはお仕合せですわ。 ました」 どれぐらい経ちます?」 んだん詰まらなくなってき 《松本清張『砂の器』1961年) 「そろそろ、十年ですよ。だ あんなこと云って。でも、 旦那さまに

(松本清張「潜在光景」『影の車』 1961年)

とはありません」

特の語用論的意味を持つ。

ソへと単純に置き換え不可能な独 出現する特徴ある指示詞であり、 のような一定の対話のパターンで

うである)。 アの使い方には違和感を覚えるよ んど聞かれなくなったと言える は、このようなアの使い方はほと (特に、若い世代にはこのような 少なくとも現代語の話し言葉で

をまともには取り合っておらず、 る話し手は、 うである。 性の発話の中で現れるのが多いよ 拡げて精査する必要はあるが、女 の形で実現する。第2に、資料を て(る))」(丸括弧部分は省略化) づく。第1に、「あんなことを(言っ 的・意味的な特徴があることに気 種のアには、 手元の用例を見てみると、この 第3に、アを使ってい 話し手が相手の発言 以下のような形式

巧みなおかしみある発言などが現 れることが多い。 話には、冗談、軽妙な軽口、弁舌 は、ちゃかしつつ)軽く突き放し それを(おちゃらけつつ、ある ている。そのため、直前の相手発 問題のアは、こ

詞ソにおける聞き手領域指示用法 く」が担うようになった)、指示 き手への話し手の移動は専ら「行 話し手と聞き手の視点対立が強ま る。巨視的視点から眺めるならば、 手の視点の対立を鮮明に示した指 使われる。これは、話し手と聞き は無くなっていく方向にあり、相 ス現象の運用においても見られる の発達など、 詞「来る」の意味領域の縮小化(聞 から相対敬語への変化)、直示動 語の運用ルールの変化(絶対敬語 る方向への変化は、たとえば、敬 示の運用が強まったことを意味す 手発話を指示する場合は専らソが 般的な変化の方向である。 現代語では、この種のアの運用 他の様々なダイクシ

日本文学会春季大会

ŋ,

日本語表記法を獲得する上で、日本人が漢文訓読と漢字によ

講演:金文京先生(京都大学人文科学研究所教授)

「日本と韓国の漢文訓読の歴史

その言語観と世界観

報告 二〇〇七年卒 李

満紅

漢文を日本語の語順によって読む 漢文を日本語の調で読んだり、 漢字を日本語の訓で読んだり、 漢字を日本語の訓で読んだり、 漢字を日本語の訓で読んだり、 一次を推進されている。今回はご 研究を推進されている。今回はご 研究を推進されている。今回はご 研究を推進されている。今回はご で展開させて「東アジア―訓読の文 に展開させて「東アジア―訓読の文 に展開させて「東アジアの漢文訓 に展開させて「東アジアの漢文訓 で展開させて「東アジアの漢文訓 で展開させて「東アジアー訓読の文 が開催された。先生はご専門の中 が開催された。

此には比古尼と云ふ)は、「彦舅巻一の「彦舅、此云比古尼」(彦舅、 る技法の淵源なのであった。つま 読し仮名を用いて日本語を表記す された技術が、漢文を日本語で訓 することが求められ、そこで開発 梵語で書かれた仏典を漢文に翻訳 である。仏教が中国に伝来した時、 は中国語の訂正記号「乙」の略字 塞、此云清信男」と同じ方法である。 国般若経疏』における「梵云優婆 たものであるが、それは『仁王護 として利用して「比古尼」と記し 読みするために、漢字を表音文字 という表意文字を「ひこぢ」と訓 術であった。例えば『日本書紀 訳において既に用いられていた技 して利用するのも、 表意文字である漢字を表音文字と は中国における仏典漢訳にある。 ために記号を使用する発想の原点 5読の際に用いられるレ点も、実 同じく仏典漢

> することができるという訳である。 前では平等だからこそ仏典を翻訳 ない。梵語・漢語・日本語は仏の されようと、 えられようと、漢語や日本語で記 るとする考え方があり、梵語で唱 教えはすべての言語、言説に通じ れも必然であったと言える。仏の 要であったかが分かるが、実はそ 教・仏典が担った役割がいかに重 日本語との間の架け橋として、 漢訳仏典の知識は不可欠であった。 このように梵語と漢語、 また、漢訳仏典をさらに日本語 仏の教えに変わりは 、漢語と

場を作ろうと努めたのである。 確認し、思想的に中国と対等な立 学んだ中国とも対等であることを 竺に近く、 本語に訳すことを通し、日本は天 た可能性が大きい。漢訳仏典を日 語になると、当時の日本人が思っ たものをもう一度迴文すれば日本 解だが)、梵語から漢語に迴文され 日本語に近く(当時の日本人の誤 三国世界観ができていた。梵語は 竺 (インド)-関係していた。当時の日本には天 アジア世界における日本の位置も に翻訳しようという営みには、 同時に等しく天竺から -震旦(中国)―日本の 東

国にも当てはまる。インドに行ったこの日本の漢文訓読の歴史は韓

観・国家観を形成した。しかしその 入れることによって、自分の言語 ちが震旦であるとし、先祖に当た 羅や百済が漢文訓読を行なってい 維持しようと努めたのである。 れぞれに国家のアイデンティティを 唯一の「中心」であると観念し、そ であると主張し、韓国は自国こそが かった。日本は中国と対等な「中心」 過程の途中で二国は違う方向に向 韓国と日本は中国から仏教を受け つようになる。同じような条件で、 檀と書きかえ、架空の国家観を持 る檀君の「檀」を取って震旦を震 た可能性が大きい。韓国は自分た 知していたので、日本よりも早く新 新羅僧もいて仏典漢訳の実態を熟

絶え間なくつきあってきた三国 影響が及んでいる。古代よりほぼ 込め、文化やスポーツの交流にも であった。 歴史を学問することの重要性を改 存することができるのか。文化や 中、日韓の外交関係に暗雲が立ち を学ばせていただいた。現在、 観・国家観にまで通じていること 感するが、言葉というものが世界 では微妙に認識が異なることを実 じ物事の表現にも中国語と日本語 人した後に日本語を習得した。 て実感させていただいたご講演 報告者は中国語を母語とし、 東アジアの中でどのように共 日 成 同



日本文学科 0 強み

北嶋 唯

もどんどん新しく生まれ変わって できるのですから、大変素晴らし あり、より良い環境で学ぶことが 環境が変わっていくうちに、 進んでいますね! 私が就職し、 遊びに行った際に大学にも足を運 いことだと思います。 は今の学生たちにとって魅力的で いような…。しかし、新しい校舎 いるのだと、嬉しいような、 んでみると…改修工事がどんどん 年が経ちました。先日、 2009年に卒業してからはや 、渋谷に 大学

明るい色合いの広々とした校舎に 胸に大学生活を楽しんでいただけ 可能性を感じました。これから青 大学生活への大きな希望と無限の しい相模原キャンパスを訪れた時、 にも私と同じように大きな希望を .キャンパスに通う学生の皆さん 私が地方から出てきて、まだ新

には日本文学科の強みがあります 経験になっています。日本文学科 が実際に仕事をする上で頼もしい 言われることもあったのですが、

日本文学科で学んだこと

学部は専門性がなく不利、

などと

す。 まれ、 進める必要があり、気を遣うこと 事関係の仕事をしています。 もあるのですが、上司や同僚に恵 ので、丁寧に時間をかけて業務を 人ひとりと密接に関わる仕事な 私は現在地方公務員として、 充実した日々を送っていま 職員 人

じて、そもそもの作品の読み方と 釈と考察方法を教えていただきま 歌集』のゼミを通じて、 次には佐藤智広先生の 教えていただきました。また二年 研究者としての基本的なスキルを 前に立って発表する方法など、一 うことや、レジュメの作り方、 してどの部分に注目するのかとい 置俊次先生の近代文学の授業を通 学したばかりの一年生の頃は、 えを第三者に伝える方法です。 を踏まえ、作品に対する自分の考 注目するのかという視点と、それ たことは、文学作品のどの部分に 先生方に一貫してご教授いただい 広い分野を学びました。その中で 『新古今和 和歌の解 人

> ことが多いのですが、作成時は問 私は起案書(稟議書)を作成する 活かすことができます。たとえば、 世界だけでなく、現在の業務でも ていただいたことは、日本文学の クニックを教えていただきました。 読み手に自説を誤解なく伝えるテ マの決め方から、論説の進め方、 品の面白さとともに、 多詠子先生からは、曲亭馬琴の作 論を担当していただきました大屋 3名の先生方から共通して教え 四年次にゼミと卒 論文のテー

大学時代は上代から近代まで幅 日 入 ることができます。 も現在の業務も同じやり方で進め 象は違いますが、基本は文学研究 や論文作成の方法と同じです。対 要があります。これはゼミの発表 で、どのように伝えるか考える必 ためには、どのような資料が必要 が提案した内容を決定してもらう を導き出す必要があり、また自分 題点を見つけ出し、最適な解決策 思い返せば就職活動時には、文

> ので、 を生かして、これからも行政に貢 すが、日本文学科で培ったスキル なことはこれからも勉強が必要で どを元に業務を行うので、専門的 学する皆さんも自信を持って勉学 献していきたいです。 に励んでください。法律や条例な 在学生の方や、これから入

(二〇〇九年卒業)

最高のこれから

慎也

社会人になってはや二年目を迎

時代のアルバイト経験から、早い段階からレストラン業務に配属が決まりました。ただそこでの仕事は私の想像が甘く感じられるほどは私の想像が甘く感じられるほどは私の想像が甘く感じられるほどでいます。ただ与えられた仕事をでいます。そんな毎日でした。ただ、毎日の業務の中で、私の支えとなっていたのは、お客様の支えとなっていたのは、お客様のちえとなっていたのは、お客様の方えとなっていたのは、お客様の方で見ることができる、その一点でした。

お客様の顔色、仕草から何を求めているかを察し、サービスしためているかを察し、サービスしたす。言われずとも真意を解く。行間を読むという意味で、これまで学んできた読解力、ひいては国語学んできた読解力、ひいては国語が活きた瞬間かもしれません。

それはおそらく責任を直接的なものとして感じるようになったからのとして感じるようになっている、の満足度が自分にかかっている、の満足度が自分にかかっている、と意識するようになったからは仕事に対する意欲も湧きはじめ、仕事に対する意欲も湧きはじめ、仕事が楽しく感じるようになったからは仕が、大袈裟ですが分岐点になったが、大袈裟ですが分岐点になったがなぁと思います。

世には様々な職種があります。何がどのように活かされるのか、それはやってみないとわからないとてしまうのは凄くもったいないと思います。私のことはほんの一と思います。私のことはほんの一と思います。私のことはほんのかに過ぎませんが、このように思わぬところで快感を得られることだってありうるんです。

さい。 いことが起きても腐らないでくだいことが起きても腐らない通りにならな

めに。 (二〇一一年卒業)

おいてさえ、

「無知」であること

自分の研究姿勢を何度

まさに衝撃の連続で、

専攻分野に

4月から始まった院生生活は、

うに感じることが増えてきました。社会人になってつくづくとそのよ

すが…)大学時代と仕事内容はさ

は申し訳ない気持ちでいっぱいで

普段の生活にも全力を注いでくだ

いに考えていました。

(先生方に

そして、

就職活動は勿論のこと、

ほど変わっていないにも拘わらず、

客様との会話の種になれば、くらは思ってもいませんでしたし、おきたことがこのように活きると



大学院進学について

小野かおり オリカー 小野かおり

しょうか。 えている方はどのくらい居るので現時点で、大学院への進学を考

学部ゼミでの取り組み、卒業論文の制作、教育実習の経験等、進文の制作、教育実習の経験等、進学への希望を抱く経緯は人それぞれにあるでしょう。大学院では、その動機から更に進んで専門性を深めるために勉強を続ける「院生」が、絶えず調査研究にあたる日々が、絶えず調査研究にあたる日々を送っています。

とを象徴しています。 単位が必修とされていますが、 気がこれまで以上に求められるこの数字は、演習にかける労力、気がこれまで以上に求められることを象徴していますが、 こ単位が必修とされていますが、 こ

も見直しました。

仮に、やっと何かが見え始めた実感を得たとしても、討議の場で実感を得たとしても、討議の場でを受けます。その指導に応え、自を受けます。その指導に応え、自なの力を培うためには、大変な準備が必要になり、より深化し、「真見」うようになり、より深化し、「真見」を打ち出す道が拓けてくるはずだを打ち出す道が拓けてくるはずだと信じたいです。

思うように作業が進まないことが多いですが、「うまくいっていると思った時はどこかで手を抜いているということなんだ。」、「院ているということなんだ。」、「院で別に出せない…ああ、私は勉か思い出せない…ああ、私生方からの言葉を心に留め、与えられた時間のなかでどれだけ真摯に研究時間のなかでどれだけ真摯に研究が象に向き合い、修士論文に繋げ、文学研究としての意義をいかに見としていけるのか、前向きに考え出していけるのか、前向きに考え

どうか積極的に質問してください。体や院生生活に関する情報です。指導教員の先生、副手さん、所属指導教員の先生、副手さん、所属が、の先輩、日文研にいる院生にが、のののが、のののでは、入試自然では、のののでは、

全てはそこから始まります。

4B 額賀 舞子

り、百貨店・宝飾業界を中心に活 付きました。これを軸に業界を絞 案し、多くの人の笑顔に接するこ 結果、私は、お客様との会話を通 点から自分を分析しました。その 分の長所や短所を聞き、異なる視 己分析だけでなく友人や先輩に自 考えることにしました。また、 足を運び、自分が何をしたいのか です。そのため、学内の説明会に か考えがまとまっていなかったの 動することにしました。 とができる仕事をしたいのだと気 じてニーズに応えるサービスを提 自分がどんな企業に就職したいの について焦りを感じていました。 3年生の9月頃、 私は自身の就 自

分だけ就職できないのではと悩むらったという友人の話を聞き、自はできませんでした。内定をもなが、なかなか内定をもらうこと

•••••••••••

思っています。 ことができました。当初目指して やりたかったことができる場だと いた業界とは異なりますが、私の が伝わったのか、内定をいただく 強くなっていきました。その熱意 働きたいという気持ちがますます 方とのお話や支店見学で、ここで が始まりました。選考での人事の 話に魅力を感じていた銀行の選考 目線のサービスと社員の方々のお した。 5月に、かねてからお客様 に活かそうと気持ちを切り替えま こで焦っても仕方ない、失敗を次 こともありました。 しかし、

就職活動中は辛いことがあるかましれません。そのような時には、もしれません。そのような時には、ち止まり、自分を見つめ直すことで道が開けることも大切です。一度立た、自分と合う企業は必ず見つかた、自分と合う企業は必ず見つかけないう熱意を持って臨めば、ります。諦めずこの企業に絶対入ります。諦めずこの企業に絶対入ります。諦めずこの企業に絶対入ります。治の就職活動が実りあるものとなんの就職活動が実りあるものとなるよう、心から応援しています。

教育実習体験記

4D 吉川奈津子

きました。 6月4日の3週間、実習に行って 6月4日の3週間、実習に行って

1年生の2クラスを主に担当し、合計で17時間授業をしました。高合計で17時間授業をしました。高校へ実習に行った人よりは時間数校へ実習に行った人よりは時間数ない授業の準備や毎日書かなけれなが投業の準備や毎日書かなけれならない実習簿、学級だよりやばならない実習簿、学級だよりやばならない実習簿、学級だよりやはならない実習等、学級だよりや記述があると思います。

給食や掃除、部活動など授業以外の時間も積極的に生徒と交流し外の時間も積極的に生徒と交流したり、振り付けを考えたり…… 先生と生徒の中間の立場である教育実習生として全力で活動をしまで生徒の中間の立場であるとした。そうして距離を縮めることで生徒の実態が見えてきて、授業のイメージがつかみやすく、そして運営しやすくなったように感じて運営しやすくなったように感じます。また、中学校にはたくさ

授業は、とにかく準備あるのみです。問題集の答え合わせだけだです。問題集の答え合わせだけだです。問題集の答え合わせだけだです。問題集の答え合わせだけだがけてきますし、こちらが欲しい答えをくれることはほぼありません。生徒には読めない、書けない為字やわからない言葉がたくさん夢ます。実習中は、準備に準備あります。実習中は、準備に準備を重ねて授業に挑んで下さい。その準備が必ず授業中の自分を助けてくれます!

になれる日までがんばります。顔を忘れることなく、本当の先生ていただきました。生徒たちの笑

介護体験

3B 小堀 知秋

てこの体験をした。 私は地元の特別養護老人ホームに 施設等での体験は五日間行われる。

た。 にかし、介護等体験といっても が護の実習はできない。「体験」 の目的を果たすための具体的な行 動は、利用者様と交流することで 動は、利用者様と交流することで 動は、利用者様と交流することで 動は、利用者様と交流することで 動は、利用者様とのんび り歓談した。歌を歌ったり、貼り りをといっても

い」という考え方に時折出くわでは「分からなければそれでいきではないだろう。しかし、世間

ŋ

>物の心や適当な態度を向けるべ

特別養護老人ホームにいらったのだろう。それでも、私にとってのだろう。それでも、私にとってのだろう。それでも、私にも期間が短かった。確かに、違うとは思えなかった。確かに、違うとは思えなかった。確かに、違うとは思えなかった。確かに、違うとは思えなかった。確かに、違うとは思えなかった。確かに、違うとが配慮してくださったこと、私にとって身体上、

は全員が「おじいちゃん」と「おはあちゃん」に思えた。実際に関わってみれば、定義の字面から伝わってみれば、定義の字面から伝わってみれば、定義の字面から伝わってみれば、定義の字面から伝わってみれば、定義の字面から伝わってみれば、定義の字面から伝わってみれば、定義の字面から伝わってみれば、定義の字面から伝わってみれば、定義の字面から伝わってみれば、定義の字面がらに関わっても作れっていた。「おじいちゃん」と「おばあちゃん」と「おばあちゃん」と「おばあちゃん」と「おばあちゃん」と「おばなりでなく、誰に対しても作ん」だけでなく、誰に対しても作れる。

とで成り立っている社会のほうが、とで成り立っている社会のほうが、とで成り立っている社会のほうが、とで成り立っているとばかりは起きない。自分自身もいつだって相手によいことなどはできない。だからこそ相手と真剣に向き合っていきたいと今は考えている。

二年間で学んだこと。

D 金 慧隣

か」とすごく悩みました。 攻することは自分にあっているの いるんだろう?」「日本文学を専 分は日本に来て日本文学を学んで せんでした。そのため「なんで自 も授業についていくことができま 学にあまり知識がなかったため、 科に入学しました。現代文学だけ 詳しく学びたいと思い、日本文学 語を学びたい、日本文学をもっと の作品を読むのが大好きで、 いました。江国香織や吉本ばなな 入学したばかりのころはどうして に興味があり、古典文学や近代文 私は日本の現代文学にはまって 日本

私は「源氏物語」の導入部も知ららない、夏目漱石の代表作も知ららない、夏目漱石の代表作も知らにのように学校になかなか慣れずに悩み続けていた私がだんだん専に悩み続けていた私がだんだん専と学べるようになったきっかけ

に対する自分の考えを文字にし発表のやり方はもちろん、文学

考えを自分の言葉にするようにし ました。まだまだ自分が考えたこ ることの大事さ」です。今は二年 番大きなものは「知ることの大切 魅力を知ることができました。何 なの前に立ち発表するところまで プリントを作り、そのプリントに た。近代文学に対して何も知らな る表現方法を学ぶことができまし できれば文字に書いてでも自分の ますが、 のは苦手なのでいつも緊張してい とをきちんと自分の言葉で伝える を話す機会も一年次より多くなり るため発表する機会や自分の意見 生になって演習の授業を受けてい ること」「自分の意見を人に伝え さ」「知識を自分の言葉で表現す よりこの授業を通して私が得た一 は知らなかった日本の近代文学の 全部私一人でやりながら、今まで 自分自身の意見を述べ、またみん かった私が、作品を選ぶことから い考え方や自分の意見を人に伝え を通して作品の知識に加えて正し 全く知らなかった私は、この授業 て、またそれを人に伝える方法も 話すことができないなら、

ではなく、それをきちんと自分の「ただ考えるところで止まるの

たいと思います。 色々と足りないところばかりの自 と役に立つと思います。まだまだ けではなく社会に出た時にも色々 さ」を私はこの二年間で学びま たもっと色々なことを学んでいき んだことを自分のものにして、ま 分ですが、この二年間を通して学 はレポートを書く時や発表の時だ 言葉でまとめて置くことの大切 自分の言葉にしておくこと

相模原キャンパスの思い出

キャンパスまではそれなりの距離 便性を享受することはできなかっ 改善といえるだろう。一方で、自 から通学していたので、 原キャンパスでの大学生活を苦労 良いので、多くの新入生にとって と思ったことはない。 分は一昨年入学したので、 ・ヤンパスへと全面的に移転す しかし、だからといって相模 青山キャンパスは交通の便が から文系の学部は青山 自分は実家 相模原 その利

८० ことはすっかり生活の一部となっ たが、自分の大学だった。そし ていて相模原キャンパスは目を引 沢な間のとり方で校舎が配置され 周りの建物にくらべ、明らかに贅 車内からキャンパスが見えるのだ。 傍を電車が通る数秒間である。電 淵野辺駅前、 ていた。印象的なのは、横浜線の があったが、キャンパスに向 はじめは何の建物かと思っ 相模原キャンパスの かう

ある。

想像を超えて

することなく、 私はこのキャンパスを一度も目に し、私も同意見だった。そうして だよね。」などと言う友人もいた わなきゃいけないなんてがっかり んだのに、相模原キャンパスに通 がなかった。「せっかく青学に進 ろ、相模原キャンパスなんて興味 のうちの一人だった。正直なとこ 多いと思う。私もそういう人たち Щ ニキャンパスを思い浮かべる人は 「青山学院大学」そう聞 青学に入学してし いて青

んて話すようになっていた。

行ってもらいたいのだ。食堂のメ キャンパスの雰囲気をあじわいに パスばかりでなく、ぜひ相模原 これからの新入生にも青山キャン キャンパスに移転してしまうが、 る。そういうわけで、文系は青山 していては何年あっても不足であ ューから注文するのを忘れずに。 しかし、同じことを繰り返 思いながら歩いていたのを覚えて する日、 模原キャンパスにたどり着いたと あきれるばかりだ。 調べる気にもならなかった自分に 行くことにした。今思えば、 いる。ほとんど期待しないまま相 毎朝通うのは面倒そうだ、そう い私は大学生らしい集団について 私は度肝を抜かれた。非常に 駅からの道のりを知らな 少し遠いな、

だ。広くて新しくてきれいなキャ ば「青山キャンパスに通わなきゃ キャンパスが気に入り、気がつけ ンパス。私はすぐにこの相模原 ストリート。 いけないなんてがっかりだ。」な 学とは思えない美しさに息を飲ん アップされた姿を見たときは、大 は心が躍った。夜になってライト ぶ木々が影をつくっているメイン 広い芝生を見たとき

ていなかった相模原キャンパスを は青山キャンパスに通うことにな 山キャンパスにだって良いところ これだけ気に入ったのだから、青 ていたし、思い出も多いだけに残 る。このキャンパスにも慣れてき 来年からほとんどの文系の学生 しかし、当初は全く期

初めて相模原キャンパスに登校

きれいだったのだ。両脇に立ち並

根間 才弥

た)。そのような感慨と共にキャ

で降ろしてくれないものかと思っ だなと感慨を持った(あと、ここ て、こんな広い所に通っているの

ンパスの内へ入ると、改めて広大

ない。 故に、 とに今まで行ったことがない校舎 ニューの半分程しか食べたことが ていても、もったいないことにメ でも同じことがいえる。二年通っ られていたのだ。食堂のメニュー 分が利用している領域は、ごく限 ばかりであった。二年通っても自 回ったことがあったが、驚いたこ に部活動でキャンパスを見学して 面 感というのはこういう物理的な側 さが分かる。思えば、大学の開放 にもあるのかもしれない。以前 何をするべきか迷うことが 大学は自由な場所であるが

たいと思う。 キャンパスへの期待を胸に、ここ キャンパスを去る寂しさと、 はたくさんあるはずだ。 で過ごせる残りの日々を大切にし 相 青山 模原

模原キャンパスに

小 奈月

ろうか、 果たしてめげずに通いきれるのだ が必要になるし、帰宅も遅くなる。 わなければならないのだ。早起き んせ自宅から二時間半もかけて通 うと、入学前は気が重かった。な ことになってしまった。正直に言 たが、不慮の災害により工事が遅 青山キャンパスで学ぶはずであっ 二四年度から文系学部は全学年、 のだ。本来なら私が入学した平成 るが、ゆっくりと歩く場合には駅 る。大学のホームページやパンフ れ一年間相模原キャンパスに通う から学校まで十分の時間を要する レットには徒歩約七分と書いてあ ところに相模原キャンパスはあ 野辺 入学前はそのような不安 駅から十分ほど歩い た

に苛まれていた。

するのを感じた。 が切られることを思うと胸が躍動 キャンパスで学生生活のスタート 風を身に受けながら、この相模原 茂っている。爽やかに吹き抜ける た芝生は手入れが行き届き青々と れも新しく綺麗で、敷き詰められ まった。キャンパス内の建物はど の不安があっさりと払拭されてし キャンパスを訪れた日、それまで 入学式の翌日、 初めて相模原

とって大きなものとなった。学び もちろん、他の学科や学部の人 じ所属である日本文学科の人々は 通うことができたのは― 時間を掛けてまでもキャンパスに 当に楽しいものであった。長い長い 豊かな友人たちと過ごす毎日は本 ることに繋がったのである。個性 いに刺激を与え合い、見聞を広め の分野が大きく異なるため、お互 も理系学部の人々との交流は私に とも多くの交わりを持った。中で にはたくさんの友人ができた。 はたくさんの友人ができた。同入学して間もなく、幸いにも私 ―もちろ

> ている。 今や私にとって大切な財産となっ

相 模原の思い 出

•••••••••••

健太

ます。 パスの思い出を振り返ろうと思い 良い機会とし、私の相模原キャン ンパスが最後となる節目の会報を することになります。相模原キャ ンパスから青山キャンパスへ移動 来年度から文学部は相模原キャ

たり、

怒ってくれたりもしました。

現在在籍している日本文学会運

起こるかもしれない地震の影響を 実家の家族や親戚などがこれから た。事実、自分の大学生活よりも が心なしか私には希薄に思えまし そのせいか大学生活が始まること 止になりドタバタした四月でした。 裏に焼き付いて離れませんでした。 とで多大な被害があったことが脳 実家が茨城で震源も近いというこ 沖地震が発生した年でした。私の は、2011年、東北地方太平洋 私が青山学院大学に入学したの 地震の影響を受け、入学式も中

> 人々が支えてくれました。 を青山学院大学で出会った周りの かりして自分を疎かにしていた私 たように思います。そんな心配ば 授業に集中することが出来なかっ

き、 ました。時には悩み事も聞いて頂 事に誘い、心配をする暇を与えな に身が入らない私を心配してくれ い程楽しい時間を与えてください 日本文学科の級友はあまり授業 部活動の同期や先輩方は私を食 私を励ましてくれました。

ことが出来ました。 したりなど楽しい時間を共有する このような素晴らしい人々と出

とが出来ました。 す。素晴らしい大学生活を送るこ 来事は忘れることはないと思いま も相模原キャンパスで出会った出 人になり、社会人になったとして キャンパスが私は大好きです。大 会えた環境を与えてくれた相模原

ス! ありがとう、 相模原キャンパ

した日々や友人たちとの出会いは

受けないか心配で一年次の前期は

緑豊かなこのキャンパスで過ご

友人の存在が大きかったと思う。 ん修学が一番の理由であるが

たり、相模原での文化祭で出店を 営委員の皆とは一緒に新聞を作っ

二〇一二年度演習紹介

《上代》

矢嶋 泉先生 (専任)



2 B 羽賀千菜津

せん。 す。この演習ではそうした姿勢で なのか、それを探っていくことで 導こうとしているテーマが一体何 脈のなかで伏線をみつけ、 語を読むということは、 べたものになっていますが、先生 する論文の多くが歴史的背景を調 図が隠されています。古事記に関 の展開、 巻下巻はほとんど注目されていま 成されていますが、一般に知られ はそうしたものを否定します。 テーマに沿った物語であり、物語 ているのは上巻の内容だけで、 事記は上巻・中巻・下巻で構 しかし、古事記はひとつの 伏線の張り方に作者の意 読者が文 作者が 物 中

臨むことを求めています。

*

2 A

斉藤菜穂美

す。 とで、そこに隠された作者の意図 12 くのではなく、自分が読んだまま きたように歴史的背景から読み解 らなる『古事記』 を読み解くことを目標としていま の授業ではこのように読み解くこ いく形で読み解いていきます。 の鍵となる部分を先行研究がして る説話づくりがされています。 ことを読み解く上で重要な鍵とな まれているものではありませんが 上巻のように有名な説話が盛り込 として読み進めます。この下巻は 『古事記』の作者が意図していた この授業では、上・中・下巻か 『古事記』という作品に触れて 』を下巻を出発点 ح そ

*

2A 田邉 美耶

辛口批評をしています。先行研究中心です。先生は先行研究に対し、矢嶋先生の演習は古事記研究が

今までと全く違った視点で研究出苦手でも問題なし。『万葉集』を

は気にしなくても良いので英語が

先生はとても優しく細かい文法

ない部分を補い、また新たな疑問を提示し、私達の探究心、研究意欲を刺激します。この演習の研究れない新しい切り口からの自由な発想を目指しています。未だに解発想を目指しています。未だに解明されていない部分を多く残す古事記の新しい魅力に触れることが、事記の新しい魅力に触れることが、ません。

3 D **小**峯

歩

*

つその意図は何であるのか、それ そのような記述がされたのか、 述されなければならなかったのか、 として受け止め、何故それらが記 り捨てるのではなく、物語的事実 それらを歴史的事実ではないと切 記述が多々存在します。私たちは れないものや重要でないとされる ですが、歴史的事実として捉えら 古の歴史書ともされる『古事記』 光をあて、学んでいます。日本最 れた歴史の構想を様々な角度から 読を通して、全巻を通じて構築さ つ一つ検証していきます。何故 矢嶋ゼミでは、『古事記』 の解 且.

面白いゼミとなっています。異なり、それ故にとても興味深く、らに対する意見はゼミ生によって

口です。

先生は私達の発想の至ら

に釣られた私達の研究発表にも辛

小川靖彦先生(専任)



3B 佐藤沙紀子

集』の歌の英訳、を行います。 集』の歌の英訳、を行います。 をいう形で演習を進めています。 という形で演習を進めています。 指定された幾つかの歌の中から 好きな歌(今年は柿本人麻呂と大 好きな歌(今年は柿本人麻呂と大 好きな歌(今年は柿本人麻呂と大 だ作者の事、歌が詠まれた背景や だ作者の事、歌が詠まれた背景や だ作者の事、歌が詠まれた背景や だ作者の事、歌が詠まれた背景や がのでし、他の英訳者の訳を参考に しながら最終的に、自分で『万葉

違いなしです。 楽しく新鮮な研究が出来ること間 来新たな発見も多いです。非常に

河野貴美子先生

3 A 舞子

を交わし合い、先生の助けを借り ながら読みを深めていきます。 そしてその話について全員で意見 つ取り上げて研究発表を行います。 究します。先生の講義による導入 とされている『日本霊異記 の後、各自が前期・後期に一話ず この演習では日本最古の説話集

相まってとても良い雰囲気の中で ており、意見交換も発表内容やそ べるかは個人の興味関心に任され ことは全くなく、先生のお人柄も 構いません。そのため堅苦しい の話に対する自分なりの意見・感 「日本霊異記とは何か」を考えて どの話をどのような観点から調 などどんな些細なことでも 疑問点、他の人の発言を受け

土方洋一先生 (専任)

《中古》



2 C 2 C 羽賀由紀子 レナ

今年の土方ゼミでは、『更級日

合いながら、皆で議論しています。 いて、多方面からの意見をぶつけ 作者の心情や作品の成立背景につ そして二週にわたって発表をし、 意見を出し合い、資料を作ります。 立つような文献を探し、お互いの から見つけ出し、問題の解決に役 記』を題材としています。 二人一組で、様々な問いを本文 土方先生の見解の広さを目の当

きました。 から問題点に立ち向かうことがで から助言を頂いて、新たな切り口 せられます。私たちは、土方先生 たりにすると、調査不足を実感さ

平安時代にタイムスリップした

気持ちで、作者の過ごした日々を

土方先生と一緒にたどってみませ

高田祐彦先生

(専任)

3 B 長野

ませんか? 主張するということに興味はあり 現を解析しながら、自分の意見を り」と感じている主体がわからな い……。日本語独特の多義的な表 物語を読んでいて、「あはれな

しろいです。 ので、討論が白熱してとてもおも 輩や院生の方も参加してくださる て読み込むのですが、四年生の先 割り振られたページを二週間かけ います。二人一組のペアを作り、 氏物語』の「須磨」巻を精読して 今年の土方先生のゼミでは、『源

に触れることが出来ます! 土方先生のおちゃめで素敵な一面 じ散歩」やゼミ旅行に参加すると、 「ひじゼミ」の特徴でしょう。「ひ また、ゼミ生達の仲が良いのも

3 B



赤間 極

こで高田先生の解説が入ります。 「あー、それはですねえ」 だ?」高田ゼミの教室前を通った あでもないこうでもない……そ も自由な意見交換でしょう。「こ 先生が指定した和歌を研究、後期 らそう思うかもしれません。騒が の語句ってさ」から始まり、あ は自分で和歌を選んで研究します。 いて議論しているのです。前期は ではないんです。古今和歌集につ しいですが、お喋りしているわけ このゼミの魅力はなんといって 「ここは何の授業をしているん

田先生と古今集の世界を味わって なのではないか、 もしかしたら『人間国歌大観』 そう噂される高

吉野瑞恵先生

3D 濱中 菜摘

性の生涯を精読します。 どまでは、一年をかけて一人の女綴った『蜻蛉日記』。吉野先生の の大『蜻蛉日記』。古野先生のた女性の、哀しくも美しい生涯を

各々が担当する本文を分析して 資料を作成し、授業の前半でその 資料を用いて発表を行い、後半は 資料を用いて発表を行い、後半は

ちょっとした言葉の端々から感じる女性の醜い憎悪、嫉妬、そして愛されたいという願い。綺麗な司で飾り立てられた和歌に詠みこ詞で飾り立てられた和歌に詠みこ詞で飾り立て千年前の女性と心を通わを通じて千年前の女性と心を通わを通じて千年前の女性と心を通れてみたい方は是非!

廣木一人先生 (専任)



3 C 向野 俊史

前期は先生が指定した箇所を、後期は自由なテーマを各人で設定し、調査した上で発表します。その際、先生から頂くご指導や学生同士の質疑応答の中で新たな議論にがることも魅力の一つです。が広がることも魅力の一つです。なく懇親会など各種行事もたくさなく懇親会など各種行事もたくさなく懇親会など各種行事もたくさなる。このゼミに予備知識んあります。このゼミに来てくだある方、ぜひ廣木ゼミに来てくだある方、ぜひ廣木ゼミに来てくだある方、ぜひ廣木ゼミに来てくだ

鈴木 彰先生

3C 福川 晴菜

を深めることができると思います。 アットホームな環境で、より理解 したりもしました。人数が少なく いう展覧会を見に美術館へ繰り出 ます。また、「平家物語画帖」と 参考に論文に近い形で発表を行い るテーマを決め、先行論文なども に発展し『平家物語』の中からあ 形で進められました。後期はさら を取り上げ諸本を比較するという めつつ、授業でも毎週一つの章段 事を中心に発表に向けて準備を進 意味や効果が生まれるのかという つけ出し、それによりどのような 諸本を比較して表現の違いを見 ストから自分の好きな章段を選び、 を取り扱っています。 私達の演習では、 『平家物語』 前期はテキ

平藤 幸先生

2B 石田 裕美

物語』を読んでいます。各々が平藤先生のこの演習では『平家

思うかもしれません。ですが、焦 のに不安を感じている人にもお勧 ある人だけでなく、演習というも すいので、 物語を見ていくと話に入り込みや 作品が多いので調べるのが大変と 話す口調にも熱意を感じます。『平 史料を用いて解釈し、発表します。 めです。 付きやすいものですし、人物から 点を当てるのが登場人物だと取っ 家物語』 いきます。 交換を行う形で授業が進められて それに対する質疑応答や意見の 気になる登場人物について諸本や は諸本や史料、他の文学 先生の解説は興味深く 『平家物語』に興味

《近世》

篠原 進先生 (専任)



3A 加藤乃々華

の怪談・奇談を扱います。毎回の篠原先生のゼミでは、井原西鶴

異文化の謎と魅力に迫ります。話をレポーターとして授業で発表話をレポーターで浮かび上がった疑題や発表の中で浮かび上がった疑題や発表の中で浮かび上がった疑題や発表の中で浮かび上がった疑

発表前には、先生が個別に読 の下、自分の納得のいくまで準 指導くださるので的確なアドバイ は、アプローチの仕方を丁寧にご が、アプローチの仕方を丁寧にご が、アプローチの仕方を丁寧にご が、アプローチの仕方を丁寧にご が、アプローチの仕方を丁寧にご が、アプローチの仕方を丁寧にご

です。 先生が大好きな人には必修のゼミ 井原西鶴に興味のある人、篠原

大屋多詠子先生 (専任)



3C 富田 理紗

恋川春町の黄表紙『化物大江山』今年度の大屋先生のゼミでは、

絵の注釈も行うため、 込み、そばとうどんの争いを描い 大江 ある方は是非受講してみて下さい。 の濃い発表ができると思います。 考文献を教えて下さるため、内容 にも疑問点やその回答に必要な参 えて下さいます。また、発表の時 で、不明な点があっても丁寧に教 できます。大屋先生は穏やかな方 の食文化や生活風俗を知ることが 本文の翻刻や語釈だけではなく、 た作品です。 戸で流行していたそばの話を持ち の注釈を行っています。源頼光の 江戸時代の文学や文化に興味が .山の鬼退治の話に、当時江 一丁を二人で担当し ・当時の江戸

加藤敦子先生

*

3B 富井 千暁

てのゼミでは、人形浄瑠璃の名作『菅原伝授手習鑑』の本文を、 一年かけて読み込みます。 私たちは、各々で本文を精読し、 浮上してきた疑問点について調べていきます。ただ本文について調べてるだけでなく、実際にDVDでべるだけでなく、実際にDVDで

> を同時に鑑賞することができると を同時に鑑賞することができる で、日本の伝統芸能に興味があ ので、日本の伝統芸能に興味があ ので、日本の伝統芸能に興味があ

近藤瑞木先生

を覗いてみませんか?

す。皆さんも、人形浄瑠璃の世界先生と、のんびり楽しく勉強中で

2B **榎田** 真奈

愛着を感じるようになります。 うちに妖怪たちの姿にも何だか は 扱っているわりに、ゼミの雰囲気 があります。 かった時には謎が解けた達成感 な作業ですが、妖怪の正体がわ や作画意図を探るのはとても大変 ます。様々な資料を駆使し、典拠 の正体を突き止め、詳細を発表し 振られるので、その謎めいた妖怪 す。一人一人に担当の妖怪が割り う妖怪画の解読に取り組んでいま 描かれた『画図百器徒然袋』とい ゆったりしていて、何度も見る 私たちのゼミでは、江戸時代に 恐ろしげな妖怪を

く面白さを教えてくれるゼミです。段々とその作品の全容を掴んでいつの作品を集中して研究する中で、

近代

片山宏行先生 (専任)



3C 篠永 彩

と成長させてくれるゼミです。とした考えを説得力のある発言へとした考えを説得力のある発言へ

主な授業内容は、一つの作品を文章と映像の二つの視点から考察のです。始めは朧気である自分ののです。始めは朧気である自分の作品と向き合う、これを繰り返す作品と向き合う、これを繰り返すにとで、明白なものへと変化して

ように上手く導いてくれます。そせず、自分で答えを見つけられるをまとめられないでいると、否定また片山先生は、私たちが意見

意義な時間を過ごしています。本文学科の一学生としてとても有雰囲気の中で学ぶことができ、日のため私たちは意見を出しやすい

日置俊次先生 (専任)



2A 青木 萌子

日置ゼミでは宮沢賢治の「やまなし」などの近代短編小説を読み、なし」などの近代短編小説を読み、とはます。このゼミで私たちは近代します。このゼミで私たちは近代します。このゼミで私たちは近代になります。毎回違う宝箱をあけている「答え」という宝物を見つけ出します。宝物を見つけるのは簡単します。宝物を見つけるのは簡単します。宝物を見つけるのは簡単します。宝物を見つけるのは簡単します。宝物を見つけるのは簡単します。宝物を見つけるのは簡単します。宝物を見つけるのは質単のではありません。時には授業が終わってもなかなか見つけ出せない

けてみませんか。す。皆さんもこのゼミで宝箱を開す。皆さんもこのゼミで宝箱を開

3 B

小野瀬

闇に案内され、自分が何処にいる さいます。 なゼミです。 のような貴重な体験も出来る素敵 れこそが人生だと感じました。 のか分からない不安に襲われまし 静寂につつまれた場所でした。暗 の賑わいから想像できないくらい いる場所は、善光寺です。表参道 い場所へと日置先生が案内して下 学院大学に通っていても、 とが出来ます。文学散策は、 いことも、短歌だからこそ詠むこ に十人十色です。筆舌に尽くし難 テーマでも詠まれる短歌は、 歌を詠んで批評しあいます。 をしています。歌会では、 短歌ゼミでは、 しかし前に進むしかなく、 私が最も印象に残って 歌会と文学散策 知らな まさ 青山 同じ ح そ

*

佐藤 泉先生 (専任)



3B 木佐貫美帆

の世相、 争、 うな問題意識を持ちながら生きて 昭和期にかけて社会はどのように いくのは少し大変ですが、大正~ えに触れます。文芸評論を読んで 活躍をしていた沢山の文学者の考 栄、小林秀雄といったこの時期に 論争を扱うので、有島武郎や大杉 など当時の論壇を騒がせた大きな は、 考究していくゼミです。具体的に ことで、 想を取り上げ発表し、討論する がら大正から昭和の文学論争や思 いです。 いたのかを知ることはとても面 このゼミは学生が毎週交代しな 散文芸術論争、本格小説論争 宣言一つ論争、内容的価値論 そのなかで人々がどのよ 人々が持っていた思想を 文学論争の流れや当時

浅野 麗先生

2D 山本 直人

じられるし、何より文学を深めて ことで視野が広がっていくのを感 説のどの部分をテーマとするか、 くその雰囲気が、もっと文学を好 集めます。1つの小説、1つのテー めることから始まります。その小 だテーマのもとテクスト分析をし きにさせてくれると思います。 生も生徒も一緒になって考えてい いくことの楽しさがあります。先 マを巡って仲間と意見交換をする 向を決めプレゼンに必要な知識を 何を深めたいか……自分たちで方 かれ、まずは対象とする小説を決 イルです。複数名のグループに分 ていくのが浅野先生の演習のスタ 材に、それぞれのグループの選ん 明治期 〜昭和戦前期の小説を題

黒田俊太郎先生

2D 高橋 遼史

い、それについて意見交換するこループが二週連続で研究発表を行このゼミでは、三〜四人のグ

が自分なりに見つけ出せたとき

ではありません。

しかし「宝物

ときもあるし、

しかもそれは一つ

たのは、 りは、文学研究のための思考の仕 ただ、日本文学科の学生であって スメしたい―このゼミは、そんな 文学研究に慣れていない方におス 不安に思っている方や、そもそも り方、でした。卒業論文に対して 方、そしてズバリ、文学研究のや 田先生が僕等に指導してくださっ いないことでしょう。その中で黒 た状態で入学された方はほとんど とが基本サイクルとなっています。 「文学研究」のクラスです。 文学研究のための視点の持ち いわゆる「文学研究」に慣れ 研究の内容そのものよ

五味渕典嗣先生

3A 笹島百合愛

第二次世界大戦中の日本では、言論統制が行われ、その波紋は言論統制が行われ、その波紋はう形を持って広がっていきました。う形を持って広がっていきました。の 対しい状況の中、世の中へと発信された当時の中、世の中へと発信された当時の対し、激動時代に日本国民はどのより、激動時代に日本国民はどのような情報と共に生きたのかという

授業形態は毎週、新聞と雑誌に受業形態は毎週、新聞と雑誌について研究や考察をし、自ら作について研究や考察をし、自ら作について研究や考察をし、自ら作にのいて研究である。

庄司達也先生

*

3D 宇治川ゆり

身近に感じることが出来る喜び な事実を発見した喜びや、芥川を りますが、努力をしたことで新た ずれてしまうと道に迷うこともあ 調べを進める方向は様々で、少し 多くの資料を集め事実に迫ります。 ます。芥川の新しい見方を楽しみ 直す機会もあり、大きな力となり び上がった疑問点をもう一度調べ があります。発表、討論後に浮か わせた図書館や資料館、または芥 ひとり受け持った項目の検証に合 検証には行動力が必要です。一人 ら多くの芸術作品に触れてきた芥 自身が訪れた場所へと足を運び 龍之介の鑑賞記録を検証します。 庄 司先生のゼミでは、幼少期か

成長出来るゼミです。

《漢文学》

*

大上正美先生 (専任)

2A 初海 正明

己を見つめ鍛錬する契機を獲得す らも強く且つ柔軟な生き様から自 からの断絶による苦悶を抱きなが を招く友情、 はない文章の中に描き出される死 魅力の一つです。毎回決して長く 発見があるのも大上先生の演習の かってきました。こんな専門的な た者らしいということが新たに分 どうやら彼等は隠者になれなかっ が、大上先生との対談を経る中で には隠者であると思われています ころで、彼等竹林の七賢は一般的 な阮籍、嵆康等も登場します。と す。中には「竹林の七賢」で有名 応した人物達が列記された書物で 即妙に、 0) く『世説新語』とは中国魏と晋と に正鵠を射た表現となるでしょ 激動の移行期に於いて時に当意 大上先生の演習で研究してい 読書尚友 時に傲岸不遜に社会に対 狂気的信条、 一この 演習を表すの 理想像

し締めさせて頂きます。くてならないと包み隠さずお伝えくてならないと包み隠さずお伝え先生の演習を貴方が一年間味わえ

*

3C 武部奈々恵

ます。 得できるまで考えを深められます。 考える時間も多くとれるため、 り聞いてくださるので、一人一人 の意見を急かすことなく、じっく 触れられます。大上先生は、私達 ができ、様々な視点からの意見に うことを自分なりに表現すること 心に自分の好きな詩を自由に解釈 感じることが出来るゼミです。 や時代背景から唐詩をより身近に 意見を交換していくなかで、情景 ています。また、少人数なので が意見を述べやすい雰囲気になっ ので、それぞれが調べたことや思 ついて一時間じっくり考えていき して論じ、みんなでひとつの詩 大上先生のゼミでは、 絶対的な正解がないものな 唐詩を中 納

*

る、

そんな知的で侃々諤々な大上

狩野 雄先生

2D 藤井香葉子

描いてきました。また、 きました。この興味から疑問を見 新たな視点での物事への興味がわ した。さらにこの授業は少人数と その違和感がとても面白く感じま 基にした姿の違いが時折出てきて、 考えられている『三国志演義。 で見えてきた曹操の姿と一般的に の人々の人物像を自分なりに思い ドを訓読し、そこから曹操や周囲 書武帝紀のいくつかのエピソー ある陳寿『三国志』を扱っていま につくと共に、その知識によって 指導が受けられ、 いうこともあり、先生の丁寧なご この授業では、 前期は曹操の伝記となる魏 後期の発表につなげたいで 中国の歴史書で 幅広い知識が身 訓読の中 を

鈴木祟義先生

3 C 杉田 亜弥

記』読解の導入として、伯夷叔斉前期は、中国の古典である『史

てているところが特徴です。中心人物ではない人々に焦点を当『史記』における列伝は、政治の『史記』における列伝は、政治の『史記』における列伝は、政治ののことですが、

識と理解を深めています。にハラハラしながら読む『史記』。にハラハラしながら読む『史記』。をころなく補ってくださる鈴木先ところなく補って、中国古典を、生の講義によって、中国古典を、ところなく補ってくださる鈴木先とことのない歴史の激流でも止まることのない歴史の激流でも止まることのない歴史の激流

Ш

3A **須貝 知世**

このゼミでは、唐代伝奇を読んでいます。唐代伝奇とは、中国の時代に書かれた小説集で、仙人や時代に書かれた小説集で、仙人や好など怪異な物が出てくる話が多くあります。毎回の授業は発表形式です。担当者が1人ずつ発表をし、その発表内容について皆で疑問点を考察したり、意見ない。

も楽しむことのできるゼミです。も楽しむことができると共に、漢文で漢文にあまり触れたことがないで漢文にあまり触れたことがないで漢文にあまり触れたことがない人でも、意欲的に取り組めばとて人でも、意欲的に取り組めばとて

《日本語学》

惨く厳しい政に憤りを覚え、それまれる古人の知恵や人徳に触れ、

中心から少し外れたところで生

近藤泰弘先生(専任)



3 C 山下 匠

集合体のことです。目的として収集されたテキストの目的として収集されたテキストのコーパスとは、言語分析をコーパスというものをご存じで

の興味のある語句を分析し、言び、実際にコーパスを用いて自分び、実際にコーパスを用いて自分ターと言語学の関係性について学ターと言語学の関係性について学生し言語を研究していきます。近藤ゼミではこのコーパスを

てくださるので、すぐに解決しま

֡֝֝֝֝֝֝֝֝֝֝֝֝֝֝֝֝֝֝

澤田 淳先生 (専任)

20 横屋 侑

たり、 ゼミ中に澤田先生が丁寧に説明し めた時にはわからなかったことも 考察したりします。自分で読み進 後期は古典語にも目を向け、歴史 とを洗い出し、 各自で読み、 成し、それを基に討論して知識を わる日本語の具体的現象について 的な観点からダイクシスを捉え れた日本語学に関する論文を予め 深めていくゼミです。毎回指定さ で行われ、担当者はレジュメを作 いて分析してきました。演習形式 意味論、 ば、 副 疑問点や気づいたこ 詞の意味や違いにつ 語用論と文法が交 ゼミに臨みます。

識を深めたい方にお勧めです。す。母国語である日本語文法の知

*

3B 遠藤なつみ

う研究をしています。の意味を、私たちが普段行っている発話の場面に即して考えるといる。

例えば、私たちは日常生活で感覚的に指示詞を使っています。で覚的に指示詞を使っています。でに共通する「その」の意味は全くに共通する「その」の意味は全くに共通する「その」である必要はありまなく「その」である必要はありますか。

等におすすめのゼミです。 年回の授業で具体的に議論してい くので、日頃何気なく使っている 言葉の面白さと奥深さを感じるこ とができます。英語との比較も行 とができます。英語との比較も行

>

鈴木美恵子先生

日本語学演習2では、日本語の 2A **関 綾音**

皆で考察していきます。る日本語について発表者を中心に文法を学びながら、普段使ってい

日本語学といっても、辞書どおりの堅い言葉を学ぶのではなく、より自然な日本語を考えていきます。文法書だけでは学べない、きます。文法書だけでは学べない、きます。文法書だけでは学べない、きます。文法書だけでは学べない、おり目然な日本語のの不思い、地方によっての差、ときには外国語と比較するなどして考えを深めることで、日本語のの不思ない。気づかされることも度々あります。気づくという楽しさを感ります。気づくという楽しさを感ります。気づくという楽しさを感じることができるゼミです。

*

山下喜代先生 (専任)《日本語教育》



3A 早田しおり

論と実践の両面から学ぶことがで山下ゼミでは、日本語教育を理

のある方にはぜひともお勧めした はありませんが、真剣に学ぶ意欲 が集まってくるので易しいゼミで このゼミの最大の魅力です。 でき、机上の学習で終らないのが 対象とした実習で発揮することが 学んだことを四年次での留学生を 教材の開発等を行います。ここで 生の日本語クラスの授業計画作成 を作成します。さらに後期は留学 を学び、各自が個人研究レポート や批評的な視点で論文を読むこと 階として、 きます。 いゼミです。 学生も本気で学ぶ意志のある人 前期は卒業論文の準備段 論文研究から研究手法

授業です。

三原裕子先生

3A 青木 祐子

もし、自分の理想とする日本語教育の授業を行うことが出来たら教育の授業では、日本語の基礎文法・の授業では、日本語の基礎文法・機能を学習するのはもちろんのこ機能を学習するのはもちろんのこと、『日本事情』をテーマにして教案を作り模擬授業を行うなど実教案を作り模擬授業を行うなど実

も、確実にステップアップ出来るより補われていきます。皆が積極より補われていきます。皆が積極的に授業に参加し意見交換をする的に授業に参加し意見交換をするの先生のお話はとても面白く参考になります。楽しく学習しながらになります。楽しく学習しながら



世界の文字史と万葉集

報告 博士後期課程 杉山 和山



本文学科と、コロンビア大学准教授ディビッド・ロンビア大学准教授ディビッド・がアイビーホール(青学会館)にがアイビーホール(青学会館)にがアイビーホール(青学会館)になど発し、コロンビア大学をよって開催された。同講演会は本学日本文学科と、コロンビア大学を表示との学術協定によって、日本のである。

の特徴として「多様性」というこルーリー氏は先ず、『万葉集』

とを指摘される。例えば、収録されている歌の作者を見ても、天皇がある。収録されている作品も長がある。収録されている作品も長がある。収録されている作品も長がある。収録されている作品も長がある。収録されているがしている。『万葉集』の書記方法もまた、その多葉性の一面を示すものとして指摘様性の一面を示すものとして指摘できるとする。そして、ルーリーできるとする。そして、ルーリーできるとする。そして、ルーリーできるとする。そして、ルーリーできるとする。そして、ルーリーできるとする。

こうした文字史観は、ジャン=こうした文字史観は、ジャッーになったでは、言葉やアイディア野生の人間に、言葉やアイディア野生の人間に、言葉やアイディア野生の人間に、言葉やアイディアの記号は野蛮人に、そしてアルファベットは文明人に相応しい」といった言葉に顕著なように、「文といった言葉に顕著なように、「文といった言葉に顕著なように、「文といった言葉に顕著なように行ったが急として捉えられた。こうしたアルファベットは、「女子との描写はいった。

から更に表音化が進むことも、世確かである。また、そうした段階 字主体かは相対的なものに過ぎな 例もある。表語文字主体か表音文 記のように表音文字が表語化する もあれば、フランス語や英語の表 字の出現後に表語文字が残る場合 後も漢字が残ったように、表音文 ない。仮名とハングルが登場した こうした変化は必然的なものでは 界的に見ても例は多い。しかし、 ある程度の表音化が生じることは と強い結び付きを持つことにより 度の発達の早い段階で、 洋の文字史観を批判する。文字制ルーリー氏は、以上のような西 いと指摘する。 口語言語

あるとして、文字に対する価値判れた狭い文脈でのみ可能なもので歴史的にも、社会的にもごく限らているか、ということについてはているか、ということについてはそして、何れの文字制度が優れ

を指摘する。断を行うことの危険性と誤謬性

では、 意文字の書記が用いられ、どう孕んでおり、どういった場合に表 が多い。表語から表音へというよも表語文字主体の書記法の方が例 らかにする上で資料的価値が高 種類と社会状況の直接的関係を明 葉集』の「多様性」故に、文字の 要があるとする。また、前述の『万 では説明のつかない問題を多分に うな単純な進化というような理解 書記が認められるが、『万葉集』 を含む七、八世紀における文字資 を捉え直し、再構築するきっかけ ような欧米に於ける世界文字史観 と位置付ける。 いられるのか、冷静に捉え直す必 いった場合に表語文字の書記が用 料を概観すると、表音文字主体の となる可能性を秘めている。木簡 れる。『万葉集』は実は、 表音文字主体の書記法より 『万葉集 以に上戻 0

講師:安田尚道先生

(本学名誉教授

講義名:日本語の意味を考える

報告 3D 村田 聖実

ました。 の意味を考える」と題して行われの意味を考える」と題して行われ

日本語を母国語とする私たちは音段、ことばの一つ一つの意味やかけたことばを例に出すと、つり上げたことばを例に出すと、「つり上げたことばを例に出すと、「つり上げたことばを例に出すと、「つり上げたことばを例に出すと、「つり上げたことばを例に出すと、「つり上げたことばを例に出すと、「つり上げたことばを別に出すと、「つり上げたことばをかけられるから、ことばを論理化していないということでない」というのはつまり、考えないことで現代日本人を論理化していないととで現代日本人を論理化していないとで現代日本人

ました。

ました。現在辞書と言えばほとん た〝辞書比べ〟をすることができ まであまりやったことのなかっ を先生が尋ね、 る?」とそれぞれの辞書の説明文 いて広辞苑はどう書いてある?」 なるため、「○○という単語につ 違えば収録している国語辞典も異 どが電子辞書ですが、メーカーが 安田先生がおっしゃいました。 化をしていこう、と最初の講義で いる。この授業ではことばの論理 の『ことばの感覚』は鈍くなって 明鏡国語辞典にはどう書いてあ 講義の中では何度も辞書を引き 結果私たちが今

方が二項目ほど細かく説明が付けは説明が少し違っていて、明鏡のとっても大辞林と明鏡国語辞典でとっても大辞本と明鏡国語辞典で

ださいました。 についてのお話を交えて教えてく 安田先生が以前携わった辞書作り を生み出そうとしているのだと、 るくらいに隅々まで網羅した説明 とばを全く知らない人が理解でき 人々がことばを論理化し、そのこ ば一つ取ってみても、辞書を作る く機会があるのか分からないこと 引いたりしません。しかしいつ引 ついて意味を知るために辞書を ば、例えば「厚い」という単語に いる私たちは普段一つ一つのこと いました。ことばの意味を知って 含んでいるものだとおっしゃって はなく、どの辞書も多少の欠陥を らの辞書が完璧かというとそうで く書かれているからといってそち 足されているのです。しかし細か

ろ/あと/のち」「さすが」など の無中講義では動詞や副詞、目 し先生が講義してくださいました 大部分を占めたのは「ことばのか 大部分を占めたのは「ことばについ 理化」つまり自分でことばについ 理化」つまり自分でことばについ で考え説明することでした。「つ が、一番初めに先生が仰った通り が、一番初めに先生が仰った通り が、一番初めに先生が仰った通り が、一番初めに先生が仰った通り が、一番初めに先生が仰った通り が、一番初めに先生が仰った通り が、一番初めに先生が仰った通り が、一番初めに先生が仰った通り

> ができ、 こぼさないようにするこの作業は 感覚も、 体系的に捉え俯瞰的に見るという えられ、 時間もことばと向き合う時間を与 間と短い日数のあいだに何度も何 覚、を刺激するものでした。 でまず考察し、次に先生のヒント ます感じる夏期集中講義となりま たしかに鈍くなった、ことばの感 を削ぎ落として必要なものを取り い言葉が見つからず、余計な部分 たことばを説明しようとすると巧 を受けて考えを出し合いました。 ついて例文を出しながら自分の 多岐に渡り、一つ一つのことばに 今まで理解していると思ってい 日本語への面白さをます 少しですが身につける事 知識だけでなくことばを 四日

館学芸員)です。 留い集中講義は、九月上旬から中 日の集中講義は、九月上旬から中 日の集中講義は、九月上旬から中

夕期集中講義

講義名:自筆資料から近代文学を

考える

報告 4A 沖田 泰大

今年度の「日本文学特講B」では、日本文学科卒業生である掛野は、日本文学科卒業生である掛野の中でも活字になった本文ではなく自筆資料に注目し、そこから何が読み取ることができるかということを学びました。

背景を読み取ることができる、とりに見ることで、作品の成立した行・文字の形や大きさ・字体やペー・文字の形や大きさ・字体やペー・文字の形や大きさ・字体やペー・文字の形や大きさ・字体やペー・文字の形や大きさ・

ました。

表はゼミ形式で行われ、宮沢 「作品」となりうるのか、芥川の 「作品」となりうるのか、芥川商 とかの『蜘蛛の糸』では印刷所に とから、編集者が内容に関わる訂 とから、編集者が内容に関わる訂 とから、編集者が内容に関わる訂 とから、編集者が内容に関わる訂 では印刷所に入稿されたも のと差し替えられ未入稿となった

> にみられる作者の内的葛藤は では新たにみられる作者の内的葛藤は ではったのか、そし で、本文の成立した順序・変遷がどの 本文の成立した順序・変遷がどの 本文の成立した順序・変遷がどの 本文の成立した順序・変遷がどの なうなものか、といったことを各 ようなものか、といったことを各 ようなものか、といったことを各

貨店」という八木さんの言葉がと 互いに紹介しあう「本の大きな百 専門外の本を探している人にはお 保町はその集合体であり、自分の ある分野に特化した専門店で、神 ことでした。それぞれの古書店が に残り、現代まで続いているとの て靖国通りが作られ、そのため第 東大震災の復興時に防火道路とし ようにして成立したそうです。関 兼ねた形の本屋が学校に寄り添う 作られ、江戸時代と同じく版元を 地に子弟の教育のために学校が 町近辺はもともと旗本屋敷が多 についてお話を伺いました。神保 んから、神保町の成立と自筆資料 を扱っている八木書店の八木朗さ 一次世界大戦でも神保町は焼けず 最終日には、神保町で自筆資料 明治時代のはじめに屋敷の敷

> ことができました。 ちゃに丸めていたのを、森田草平 られないことを経験させていただ といった五感を通じてでしか感じ 特注の和紙の厚さ・漱石の万年筆 や内田百閒といった弟子たちが拾 石 き、とても有意義な時間を過ごす のブルーブラックのインクの濃淡 さ・横光が筆で書くときに使った を見せて頂き、実際の原稿の大き た近代の作家たちの生の自筆原稿 石・芥川龍之介・横光利一といっ 作家にまつわる裏話や、 自筆資料が残っている」といった い集めて残していたからこそ今に は書き損じの草稿をぐちゃぐ 夏日漱

講師·掛野剛史先生

(埼玉学園大学)

ても印象的でした。そして、「漱



片山 宏行	菊池寛『話の屑籠』を読む	近代文学研究(一)	篠原 進	怪談・奇談を読む―	―浮世草子とその汽水域にある	近世文学の諸問題Ⅱ	近世文学演習(二)	歌舞伎研究 大屋多詠子	近世文学研究(一)	廣木 一人	『梵灯庵返答書』研究	中世文学研究(二)	『平家物語』を読む 櫻井 陽子	中世文学演習(一)	高田 祐彦	『源氏物語』の諸問題	中古文学研究(二)	土方 洋一	平安朝仮名文学研究	中古文学演習(一)	小川 靖彦	「継色紙(つぎしきし)」研究	上代文学演習(二)	矢嶋 泉	古代朝鮮半島の歌謡と万葉歌	上代文学研究(一)	〈大学院〉		平成二十四年度講義題目
文学研究の方法と基礎的な実習	能力 廣木 一人	日本文学研究のための基礎知識・	作品をよむために 矢嶋 泉	文学研究法	〈学部〉	教材研究 山下 喜代	日本語教育における語彙学習の	日本語教育学演習	陶淵明詩を読む 大上 正美	漢文学演習	安田 尚道	国語史の資料と扱い方	国語史研究	近藤 泰弘	コーパス言語学の諸問題	国語学演習	禅竹の世界― 三宅 晶子	総合芸術としての能―世阿弥・	劇文学研究	中村文	藤原清輔の歌観を探る	韻文学研究	す 五味渕典嗣	戦時下の文学と文化を読みなお	近代文学研究(三)	戦後の文学批評 佐藤 泉	近代文学演習(三)	横光利一研究 日置 俊次	近代文学演習(二)
『平家物語』を読む 平藤 幸	『更級日記』を読む 土方 洋一	『古事記』を読む 矢嶋 泉	(相模原)	日本文学演習	日本語史 澤田 淳	日本語史	日本語学の概要 近藤 泰弘	日本語学概論	情報処理入門 小磯 花絵	日本文学・日本語学を学ぶための	日本語日本文学情報処理法	大上 正美	中国文学入門(李白と杜甫)	漢文学概論	説)の変遷を知る。片山 宏行	明治、大正、昭和の文学(主に小	近代文学概論	篠原 進	古典を読む―ミステリーの系譜	古典文学概論	佐藤泉	Ⅳ、日本・近代・文学史	Ⅲ、江戸時代小説史 大屋多詠子	Ⅱ、中世文学史 廣木 一人	I、平安時代文学史 土方 洋一	日本文学史	大屋多詠子	文学研究法と江戸の魅力	高田 祐彦
		文学思想と小説を読む	録を検証する	芥川龍之介と同時代芸術―	人形浄瑠璃を読む		黄表紙『化物大江山』を読む		西鶴の〈ふしぎ〉を考える	『平家物語』を読む	中世説話文学研究	『新古今和歌集』研究		源氏物語・須磨巻を読む	『古今和歌集』精読	τ	『蜻蛉日記』の新たな読みに向け	説話を読む		『古事記』の構想を探		『萬葉集』の美とその英訳	(青山)	短編小説の世界			明治期の小説を読		『画図百器徒然袋』を解読する

唐詩を読む 日本語研究と語用論 現代日本語文法について考える 卒業のためのステップとして 現代短歌の研究と実作 日本文学講読 コンピュータによる文法研究 日本語学の理論と方法 日本語学演習 唐代伝奇を読む 漢文学演習 (相模原 『平家物語』 『史記』を読む 。うつほ物語』 相模原 『三国志』を読む "世説新語』を読む 相模原 (危機) を語る言葉 かのテーマ のあいだ を読 を読む。 -講読といくつ ―戦記と文学 平藤 澤田 松野 山﨑 狩野 近藤 澤田 鈴木 大上 大上 片山 鈴木美恵子 置 一味渕典嗣 正美 崇義 正美 宏行 泰弘 俊次 幸 彩 淳 淳 雄 外国人学習者に対する日本語の指 書理論 $\mathbb{I}^{'}$ Í 書道 江 特別演習 日本語教授法 将来日本語を教える事を想定して 日本語教育概論 似ている言葉の違いについて考え 日本語学講読 上代文学に関する諸問題 漢文学講読 「萬葉集』 (相模原 『史記』 選読 (相模原 る うことを通して体験し初歩的な 導法を実際に初級模擬授業を行 教授能力を習得する える姿勢を持つ 日本語を意識化し、客観的に捉 戸の恋愛奇談とダークサイド 書く。 かな書と平安古筆 (卒業論文 および書物学の研究方 書の歴史を学ぶ。 小島 橋本 矢嶋 小川 池田 小島 鈴木美恵子 狩野 畑中 前田多美子 聰子 匡朗 千晶 聰子 早苗 靖彦 泉 雄 古典和歌入門 日本語教育初級の具体的な指導法 日本語教育演習B 日本語教育研究法及びコースデザ 日本語教育演習A 中世散文学 日本語教育及び関連分野の研究 日本語研究の理論と方法 卒業論文の書き方 中国古典文学・漢文学 近代以降の文化、文学、思想をテー 卒業論文作成指導 近現代文学研究 卒論指導(近世文学研究法 主に近世文学 中世・近世韻文学 卒業論文作成のための指導 平安文学、その他 日本文学特講 『萬葉集』とは何か 相模原 を考える イン研究 マとする卒業論文の作成 (表象文化論) 近藤 田代 金澤 山下 澤田 日置 片山 三原 山下 大上 佐藤 篠原 土方 大屋多詠子 喜代 喜代 俊次 宏行 和美 裕子 人 泰弘 正美 祐彦 洋一 人 葉 淳 泉 進 戦後社会の「表象_ 古典の色彩美―写本の料紙と『萬 007シリーズでたどる現代社会 第二次世界大戦後の検閲と文学 横光利一研究 日本近代文学と菊池寛 『桜姫全伝曙草紙』を読む ふしぎと不気味 連歌師と旅 斎宮女御徽子女王の研究 現代小説としての王朝物語 連歌文芸の歴史 『古事記』の成立 (青山) 『太平記』の表現世界を考える 「源氏物語」 |萬葉集||とその「評釈」小川 「噺本」を読む の歴史 リーを読む 葉集』から― の構造と方法 ―短編小説の世界― ―江戸のミステ 佐藤 和田 篠原 矢嶋 助川幸逸郎 日置 高田 助川幸逸郎 土方 松本 大屋多詠子 琢磨 卓史 俊次 人 祐彦 史果

泉

進

日本文学特講 (集中講義) Α

日本語の意味を考える 安田

日本文学特講 (集中講義) В

尚道

自筆資料から近代文学を考える

掛野 剛史

日本語学特講 漢代楽府

中

·国の古代文学

(『詩経』・『楚辞』・

大上

正美

○平成二十四年度は、

山下喜代教

牧角

六朝文学における「言志」

の系譜

漢文学特講

日本語の地域的バリエーショ 意味論・語用論 ある「方言」について 三井はるみ パスに基づいた日本語文法研 澤田 近藤 ンで 泰弘

日本語教育実習

短期集中日本語会話クラス」 山下 喜代

(研究室だより)

○平成二十四年度から新たに非常 ○平成二十四年三月の日本文学科 学部卒業生は一七四名、 三月修了生は一名でした。 後期課程の四月入学者は二名 了生は二名、四月入学者は七名、 でした。大学院前期課程三月修 二十四年四月入学生は一二八名 また、

> 藤幸、 だいています。 悦子、 田琢磨の諸先生方にご尽力いた 勤講師として、 木崇義、 金澤和美、北島大悟、 助川幸逸郎、鈴木彰、 宮本祐規子、 藤井史果、 田代一葉、 浅野麗、 藤本灯、 中村文、 山﨑藍、 掛 牧角 櫻井 野剛 平 鈴 和

○平成二十四年度は佐伯眞一教授 授が学科主任を務めました。 休講なさいました。 が内地留学 (東京大学) のため

○平成二十四年度日本文学会大 号館九三〇教室で開催されまし 月三十日に青山キャンパス、 会・講演会・総会・懇親会が六 頁をご覧下さい。 講演会については本会報四 九

○平成二十四年度より、 専門の澤田淳准教授が専任とし て着任されました。 日本語 学

○平成二十五年三月をもって中国)昨年度ご退任されました安田 文学がご専門の大上正美教授が います。 師として週に一度青山キャンパ 道先生が、今年度より非常勤講 定年のため専任を退かれます。 スにて講義を行ってくださって 尚

> ○平成二十四年五月、元本学教授 りいたします。 九十六歳)心よりご冥福をお祈 生が亡くなられました。 で近代文学がご専門の寺園司先 (享年

都并次了 何等でを 177年 究のあるですが 村子ない 14.2017 14.2017 14.2017 ○元本学教授で中原中 也の研究者でいらし

様より、 成二十三年度末に青 ルヘン」の額を、 中也の詩 近藤春湖氏筆の中原 にご寄贈頂きました た故永藤武先生の奥 平成十三年 「一つのメ 平

年生

ました。 山学院資料センターに移管致し

(編集後記

をしました。 にあたり、 委員が会報に原稿を書かせて頂く キャンパスに、また日本文学学生 れることになる為、表紙を相模原 す。ありがとうございます。 場を借りて感謝をしたいと思いま な方にお世話になりました。この 今年度で相模原キャンパスを離 今回の会報を作成にあたり様 相模原の思い出で統

숲

作成を手伝ってくださった方々、 最後になりますが、 今度の会報

FAX(〇三)三四〇九

一八○○五

あ うがとうございました。 (学生委員委員長 佐藤健太

教**編集委員**

大屋多詠子

学生二年生 羽初北福向正佐賀海澤岡坊木藤 千 菜正紗宏 恵健 津明彩紀豊理太 泉

高山渡仲長門藤森本邉村谷脇本 理 川 紗隆拓レ良絢恭 子弘視ナ子子輔

美 里玲悠薫才奈建凌朋拓 舞帆裕亜奈有子弥月太汰代良 山前兵土阿内岩坂平酒堂野 下澤藤肥久田本田山井前間 ゆ 津 智 麻 双弘う真梨峻悠千香秀清衣 葉光子純奈一里尋子朗香子

早國吉杉佐 川井田山藤

〒150-8366 ○ 一三年三月二十三日 (〇三)三四〇九—七九一七 青山学院大学日本文学会 青山学院大学総研ビル10F 渋谷区渋谷四—四—二五 日本文学科研究室内 第四十七号 発行

今鵜根小浅保梅菱 井飼間幡沼田澤田